

広報

うちなだ 8

1999 UCHINADA TOWN PUBLIC INFORMATION MAGAZINE No.439

発行/内灘町総務部総務課 (毎月5日発行)

〒920-0292 石川県河北郡内灘町字大学1丁目2番地1

TEL(076)286-1111 FAX(076)286-0617



ぼくのねがい、届ちー!

つよくかおりました
せがねけんた

ノるかとおくしおが
こおまよとうは
たかだあおの

〔主な内容〕

- 特集：学校を考えよう (P2～4)
- 地域振興券利用期限迫る (P5)
- 新農業委員決まる (P6)
- うちなだ再発見！ (P9)

がっこう



を考えよう



家庭崩壊、学級崩壊……

あちらこちらで、なんだかおかしいな“崩壊”が始まり、社会性のない子どもたちが増えてきたと言われています。でも「社会」ってどこへ行けば出会えるの？「心」は誰が教えてくれるの？

家庭・地域・学校の結びつきが希薄になった今、子どもたちにとって約束なしに友達と会える場所は学校において他にありません。夏休みに入った今、もういちど「学校」の果たす役割について考えてみませんか。



見合って、見合って。



はっけよい

6月17日（木）、清湖小学校で、オープンスクールでの新しい教育の取り組みを探る研究授業が、上智大学の加藤幸次教授を講師に招いて開かれました。

加藤教授は、オープンスクールでの授業の大切さを早くから提唱した人です。今までの授業のあり方は、先生が教室に来て「はい、授業を始めます。」と言って始まり、先生の提示する教材を指示のままにこなしていくという形式重視の画一的な方法が一般的でした。その結果、教室に入るなり教師の指示を期待する、いわゆる「指示待ち」の人間が多く育ちます。**指示にはよく従って行動するが、指示されたことが終わると、次の指示を受けるまで何もしない、自らの判断で行動できない人間**です。教授の大学でも学期末にレポートの提出を要求すると「どれくらい書いたらいいのですか。」「用紙は原稿用紙ですか、レポート用紙ですか。」「どこに提出するのですか。」…と延々と質問が続くのだそうです。

これに対して加藤教授は、子どもたち一人ひとりを個性的な存在として認め、自ら学習課題に悩み、自分の方法で解決していくような主体的かつ個性的な学習活動の場を実現することを提唱しています。オープンスクールが生む多目的スペースを活用し、ティームティーチングを組んで自発的に主体的に学習していけば、教師は「指示する」側から「支援」する立場となり、学習者としての子どもたちが全面に出てきます。

自分で考えて行動する。このことが今、最も教育に求められているのです。



真剣に授業をみつめる
加藤教授

ダンスではありません。
体中でじゃんけんをしています。





夏休み!! だから



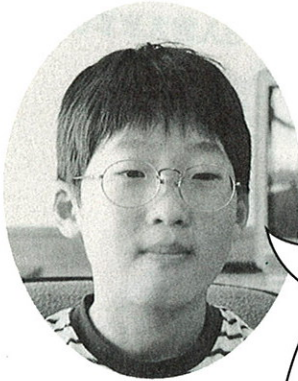
森 茂信 校長先生
(清湖小学校)

清湖小学校はオープンスペースを取り入れた学校です。
森校長先生にこの学校の特色をおうかがいしました。

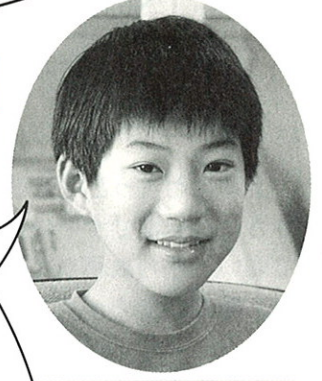
平成14年度から完全学校週5日制が実施されますが、同時に学習指導要領も全面改訂されます。改訂のねらいというのは4つあるのですが、それがまさに、この小学校の特色・指導方針に一致したものとなっています。

この学校は、教室の壁が完全に取り払われていますが、そのことによって心の壁とか意識も変革してきているように思います。生徒たちは学級の枠にとらわれず自由に行き来していますし、学年が変わってクラスが分かると、仲のよかった友達ともう遊ばなくなるというようなこともありません。授業内容も、生徒が自分達で学習テーマを決め、自分たちで資料を収集し、また、実際に校外に出て学ぶという総合学習が多く取入れられています。インターネットなども自由に使いこなしているようです。そういった授業では、生徒がテーマに沿って興味のある分野に集まるので、教室の壁がないことは、まさに好都合だと言えます。幸いにも、この学校では不登校の生徒は一人もいません。みんな和気あいあいと学校生活を楽しんでいるようです。

6年2組のみなさんにもお話をうかがいました。



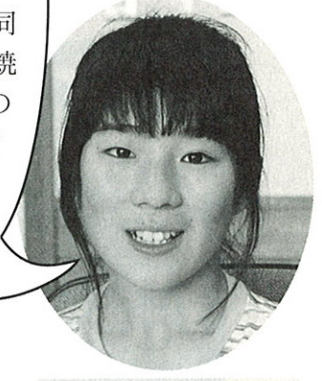
① 町中慎平さん



② 小泉郁裕さん



③ 嵐柴麻未さん



④ 河内彩恵さん

- ①自分たちで考えて進めていく授業が多いので、楽しいしやりがいもあります。また自分で先生を選べる授業もあるので、その点もいいと思います。
- ②ランチルームで、みんな一緒に昼食を食べるので楽しい。縦割りのグループで食べるので、低学年の世話や後片付けもします。それに、この学校は夏が自由服なので動きやすく楽です。冬服もそうなればいいと思います。
- ③教室の横にオープンスペースがあるので、そこで1・2組合同で総合学習をしています。この前もお年寄りの人たちと一緒に焼き物を造りました。今、作品を廊下に展示してあります。この小学校はそんなスペースがたくさんあるので、広々としてとても気持ちがいいと思います。
- ④中庭にプレイコートがあって遊具や一輪車もあり、1年から6年までがみんな一緒に遊びます。外ばきに履き変えなくてもいいのですごく楽です。それに、コンクリートじゃないので、ころんでも痛くありません。

最後に夏休み中の、家庭でのありかたについて
田中仁志 教育センター所長にお話をうかがいました。



内灘町教育センター所長
田中仁志さん

このセンターは、学校に行く気があるのに登校できない子、病気とは思われないのに、体の不調を訴え欠席を繰り返す子が、心を開いてくれるようお手伝いをしています。

ここに来るようになるきっかけはさまざまですが、人間関係に不安があったり、いじめの前段階を経験したりと、他人には気付かない心の病気を抱えた子どもが多くいます。

今の時代はファミコンなどで家で遊ぶことが多く、外に出て集団で遊ぶ機会が少なくなってきています。遊びのルールすなわち、社会生活の前段階のルールを学ぶ機会が減っているということです。人付き合いができない子が増えるのも当然かも知れません。

子どもが病気になったときは、まずはじめに親自身が子どもを追い込んでいないか考えてください。親がイライラしていたり、夫婦仲が悪かったりすれば、おのずと子どもの心に暗い影を落とします。家庭は子どものいちばんのやすらぎの場所で、家庭がうまく機能していなければ、子どもの心も健全に育ちません。

夏休みに特にお願いしたいことは、父親が子どもと一緒に戸外で遊ぶ機会を増やしてほしいということです。それも押しつけではなく子どもの意見を聞いて、したいことをしてあげてください。子どもがしゃべらなくなったり、朝なかなか起き出してこなくなったりしたら、不登校になる前のサインです。

もしそういうサインが出たら、親はもう一度家庭の中に問題がないか考え、子どもとじっくり触れ合う機会を増やすよう努力してほしいと思います。このセンターに通う子どもがどんどん減っていくことが私の一番の望みですね。

上司にちょっと注意されただけで会社を辞めていく若者。おとなのささいな一言ですぐにキレてしまう子ども。他人からの干渉にきわめて弱い、叱られ慣れていない現代っ子たちがどんどん増えています。対人関係の能力が落ち、感情のコントロールが低下している現代人。夏休み！家庭・地域・学校の果たす役割を今一度考えてみましょう。

そして普段家にいないお父さん!!ゆっくりと心ゆくまで子供とつきあってください。あなた自身も少年に戻って。

お父さん！
子供のともだちの名前を
3人言えますか？



自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てることは、すなわちよりよく「生きる力」を身につけることです。国際化や情報化が進展し、グローバルな視野がますます求められる21世紀。「よりよく生きる」は、私たち自信に向けられた問題なのかもしれません。

地域振興券
の申請とご利用は
9月11日(土)まで!



地域振興券についての問い合わせ
総務部企画調整課
☎286-6723 (直通)

内灘町議会議員西田亮輔氏(五十七歳)が七月七日午前四時五十分、内臓疾患のため金沢医科大学病院で死去されました。西田氏は平成三年から三期八年にわたり町議会議員として在職、その間文教福祉常任委員長、決算特別委員長等を歴任し、内灘町の発展に多大な功績を残されました。謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

個人消費の喚起と地域経済の活性化のため打ち出された地域振興券は、九月十一日までが利用期限となります。この期間に利用しないとせっかくの金券が使えなくなります。

町内で地域振興券の登録を受けた事業者(小売店、飲食店、サービス業等で登録証明書またはポスターの掲示が有ります。)で利用ができます。

交付対象者は早めに申請を!

地域振興券の交付対象者と思われる方で、未だ申請されていない方は、利用期限が迫っておりますので早めに申請してください。

特定事業者の地域振興券の換金は十二月十三日まで

特定事業者の方は、町内各金融機関で、地域振興券の換金請求を行ってください。最終の締切日は十二月十三日となります。これ以後の換金請求は取扱いきませんので、早めに請求を行ってください。



保健センター開所式



開所式に訪れたお母さんから
「内灘町には屋外の遊び場は多くありますが、金沢市のように室内で自由に遊ばせる場所がありませんでした。学齢前の子どもを持つ母親は、子ども同士で遊ばせたいと思って、知人も少なくどうしても孤独になりがちです。このような施設ができることで校下以外の友達ができることも期待できます。今後、このセンターを積極的に活用したいと思います。」

七月五日(月)旧役場庁舎を改装した保健センターの開所式が行われました。テープカット

では岩本町長・南議長のほか、鶴ヶ丘児童館児童代表の細木祥吾さん、岩本理沙さんの四人がはさみを入れました。またオーピングセレモニーとして内灘町民謡協会と北川会のみなさんによる民謡民舞が披露され、式典を色彩りました。

このセンターは母子保健・老人保健・健康づくり・栄養指導などの諸事業を行うほか、「わんぱくルーム」や「多目的ホール」も設けられ、多様な利用形態が可能となっています。

鶴ヶ丘児童館に通う
きよたあやなちゃん



「広がってうれしいな。学校が終わったらここで宿題をするよ。」



新農業委員会委員決まる!!

会長に米田 満氏、職務代理に橋本勝治氏

七月六日告示された農業委員
会選挙において、十二人の方々
が当選され、また、議会・農協・
共済から推薦された七人の方々
も、それぞれ選任されました。

また、七月二十六日に開かれた
総会において、会長および石川
県農業議員に米田 満氏、会
長職務代理に橋本勝治氏が互選
されました。

農業委員会とは？

農業委員会は、農業委員会等に関する法
律に基づいて、農業及び農業者の利益を代
表する行政機関として、次のことを目的に
各市町村ごとに設置されています。

- (一) 農地の売買や転用許可、あつせん、紛
争の防止。
- (二) 農地賃貸借の管理や、標準小作料の決定。
- (三) 農業者年金等の相談活動。
- (四) 意見の公表、建議、諮問に対する答申。

また、農業委員は、町の農地流動化推進
委員に委嘱され、農地の賃借の掘り起こし
活動を行っています。農業に関するご相談
は、お近くの農業委員会にお尋ねください。

内灘町議会議員に 中村銑司氏が当選

西田亮輔氏の病氣死去に伴い、公職選挙
法第十二条第一項（内灘町議会議員選挙
の期日から三ヶ月以内）に欠員が生じた場合
の繰上補充）の規定による選挙会が、七月
十六日に開かれ、先の選挙で次点となられ
た中村銑司氏を当選人と決めました。



無所属 当選四回
昭和十六年七月三日生
(五十八歳)
無職
鶴ヶ丘三丁目二九二番地



米田 満
向粟崎
共済推薦



橋本勝治
向粟崎
公選



油木友二
宮坂
公選



藤井茂治
大根布
議会推薦



飯田 謙藏
宮坂
公選



笠間勝弘
西荒屋
公選



北川 巖
向粟崎
議会推薦



川江徳次
室
公選



中嶋敏正
大根布
公選



梅田秀雄
西荒屋
議会推薦



米田 勝
向粟崎
公選



三原左喜男
大根布
公選



島田清一
向粟崎
農協推薦



伊戸川 優
大根布
公選



岡野三郎
西荒屋
公選



北 繁
室
公選



上前勇作
宮坂
議会推薦



橋本利明
向陽台
公選



前崎隆夫
室
議会推薦

(議席順・敬称略)

消防 だより

放火に注意!!

「○○○○で連続放火?」等と新聞の大きな見出しで見られるように近年県内でも放火による火災が多発傾向にあります。狙われやすいのは、家の周りにライターやマッチ等ですぐに火が着きやすい段ボールや雑誌、古新聞等の燃えやすい物が置かれている場合です。放火を未然に防ぐために次の事に注意しましょう。

- ・家の周りに燃えやすいものを置かないようにしましょう。
- ・夜間、建物の周囲を明るくしましょう。
- ・空き家、物置には、鍵を掛けましょう。
- ・車やバイクのボデイカバーは、燃えにくいものを使いましょう。

地域ぐるみで放火防止に取り組みましょう。



火事・救急・救助は 119番
緊急時の通報

火災等情報案内 286-1999
消防署一般電話 286-3301

怖いのは、「消したつもり」と「消えたはず」

正しく使って、 楽しい花火



暑い夏、涼を求めて花火をする方もおられると思いますが、花火も正しく使わないと火傷をしたり、火災の原因になるなどせっかくの楽しみを吹き飛ばしてしまう事があります。

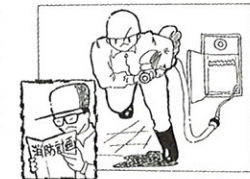
- ①安全な場所で花火をしましょう。
- ②強風時等の気象条件に注意して行いましょう。
- ③子どもだけではしないようにしましょう。
- ④注意書きを必ず読み、間違った使い方は絶対にしないようにしましょう。
- ⑤花火をほぐしたり、数本まとめて点火したりするのは止めてみましょう。
- ⑥必ず水の入ったバケツを用意しましょう。

※花火が終わったら、後始末をしっかりと行いましょう。

第七回 河北郡消火技術競技大会

河北郡防火協会は、来たる八月二十八日(土)午前九時より河北広域消防本部グラウンドにおいて、恒例の消火技術競技大会を開催します。

この大会は、郡防火協会加盟事業所の選抜チームにより、日頃から万一に備えて取扱練習している消火器や屋内消火栓を使用し、消火までの速さと正確さを競い合うものです。



火災を発生させないことが何よりですが、ちょっとした油断から万一火災が発生した場合には、冷静沈着な行動が取れる事が大切です。

その為にも日頃の練習が功を奏します。

皆さんも、この機会に会員の万一に備えてのきびきびとした動きを、一度ご覧ください。



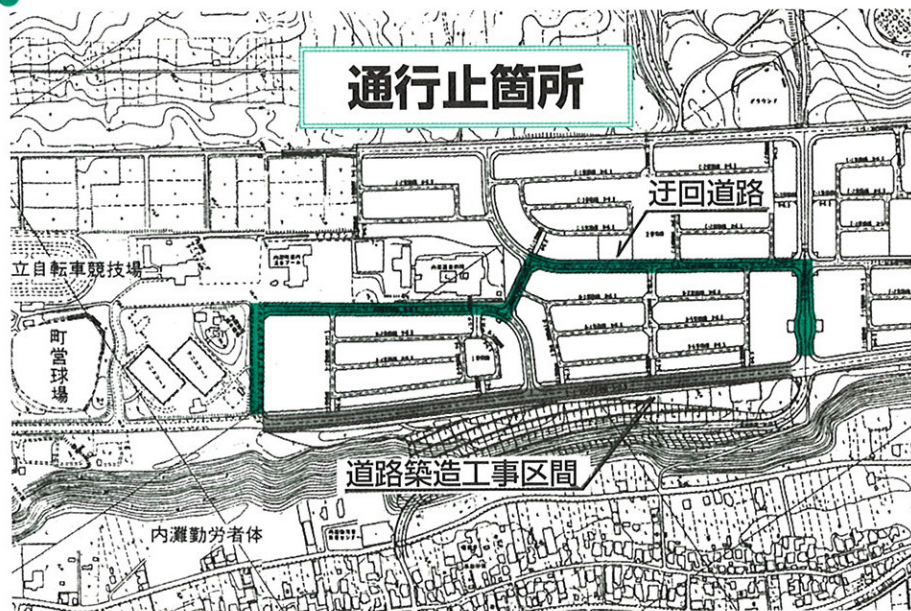
海水浴シーズンです
水難事故の防止を!

通行規制のお知らせ

内灘町では、河北潟放水路を境にした南北地域の一体的整備のもと、均衡のとれたまちづくりを目指し、北部地区において土地区画整理事業を行っています。

今回、左図の区間の道路築造工事を実施します。工事期間中、通行止めとなり、皆様には、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、左図のとおり迂回道路を確保いたしますので、よろしくお願いたします。



問い合わせ
産業建設部 都市計画課
☎286-6713 (直通)

※工事期間
平成11年8月30日～平成12年3月31日